

清流

あしりべつ川

発 行	清田地区町内会連合会
	〒004-0841
	清田区清田1条2丁目
	TEL 883-7600
	FAX 883-8057
	発行責任者 牧野 晃



清田区のシンボル
夏を彩る「あしりべつ川」

清田区の中心部を南北に縦断し、区のシンボルとして、また清田ふるさと遺産として親しまれている「あしりべつ川」周辺は、風薫る5月になると、長い冬から解放されて花の季節に衣替える。

地域の風物詩として定着した大小約80匹の鯉のぼりが、爽やかな風を受けて、さつき晴れの「あしりべつ川」上空を泳ぎ、路行く人たちに初夏の訪れを告げてくれる。

さんさんと降り注ぐ陽射しを受けて、八重桜の並木が一段と華やかに咲き誇り、緑深まる川辺にはルピナスの群生が続く。

盛夏を迎えると、ラベンダーが甘い香りを漂わせて河川敷に彩りを添える。

豊かな自然に恵まれた清田区。色鮮やかな花々が四季折々に移り変わる風景は、一幅の絵のように人々の心を癒し、自然とのふれあいを楽しませてくれる。

(写真・文 清水延明)

新年度を迎えて



清田地区
町内会連合会 会長
牧野 晃

日頃より、町連の活動推進にあたり、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

去る、4月19日の町連定例総会におきまして、26年度の事業計画・予算案の承認を頂き、新年度の活動がスタートしたところです。

今年度も皆様方のご協力によりまして、課題の解決に鋭意努力する所存です。よろしくお願い致します。

さて、私たちは、以前より「住みよい安心安全なまちづくり」を課題の一つとして挙げ、町内会を中心に地域の助け合い活動を進めて参りました。しかし、時代の推移と共に、札幌市の少子高齢化や核家族化の急速な進行により地域とのつながりがほとんどなく、孤立化する高齢世帯や一人暮らしの高齢者が増え、それに伴って「孤立死」の増加が大きな社会問題になって参りました。

「孤立死」とは、「地域社会から孤立して、誰にも看取られる事がない状態

での死」と一応定義されています。

この問題については、2年前に白石区で知的障がいのある妹と病気がちな姉の2人が亡くなっているのが見つかった事例、また、今年の1月には、白石区のアパートで、76歳の女性と49歳の長女が死亡しているのが発見されたと新聞報道がありました。

障がいのある妹の死、49歳の長女の死因は、衰弱の末に厳寒期の中での凍死でした。外部にSOSを出す事が出来なかったのです。

この2つの事例は「孤立死」として私たちに大きな衝撃を与えました。

今、私たちに求められている課題は、一人暮らしの高齢者や障がいのある方々の「孤立死」を防ぐ取り組みです。身近な地域での見守り体制の充実がより一層重要になっていきます。安心して暮らせる「まちづくり」として、私たちは、日常的な支援を必要とする人に対する「見守り・安全確認活動」を、町内会「福まち活動」の基本的事業と位置づけ、活動を推進しなければなりません。

この活動は、「福まち」の推進員や協力員だけの問題ではありません。町内会として、「孤立死を防ぐ活動」に

どう対処するかという事であり、腰をすえた必要な議論をし、活動するための体制づくりを整える事が求められています。

いまだ活動半ばの町内会では、先進の実践を参考にし、民生委員と連携協力しながら誰もが「安心して暮らせるまちづくり」のため、今こそ取り組み

26年度定例総会



清田地区町内会連合会の「平成26年度定例総会」が4月19日午前10時から清田区民センターで開催されました。(定数76人に対し役員・代議員の出席65人、委任状5人、欠席6人)。

挨拶で牧野晃会長は「孤立死を防ぐ見守り活動、子どもたちやお年寄りの安全を守る防犯・防災に関する問題、自然を守る

事が望まれます。課題は、簡単なものではありませんが、解決に一步でも近づくため、今後とも町内会皆さまの一層のご理解と活動への参加協力を切にお願いする次第です。

環境監視活動と環境保全の問題を課題として今年度も引き続き取り組んでいきたい。解決に一步でも近づくよう地域の人たちの協力をお願いします」と訴えました。



この後、真栄第二町内会の氏家正さんを議長に選出し議事にはいりました。そして、25年度の事業と決算報告、26年度の事業計画と一般会計予算案、印刷機事業会計と50周年記念事業会計予算案を原案通り了承し終了しました。

おねがい

26年度定例総会の議案について詳しくお知りになりたい方は、町内会の会長、代議員、まちづくりセンターにお問い合わせ下さい。

もちつき大会

青少年育成部

昨年12月1日の日曜日、真栄団地町内会館から元気な子どもたちの声が響きました。恒例行事となった「親子もちつき大会」です。

この日は天候にも恵まれ、早々と親子連れが足を運び、開始時間にはおよそ140人が集まり、これまで最高の賑わいを見せました。会場では青少年育成委員や各町内会の人たちが水につけて用意し

ていた「もち米」を蒸籠で蒸して早速「もちつき」を始めました。フロアーには杵と臼が用意され、親子連れが順番に「もちつき」に挑戦しました。重たい杵を何度も持ち上げ真っ赤な顔をしながら初めての体験に汗を流しました。そして歓声を上げながら、数分間の格闘を終えた後は楽しい試食

一口大にしたお餅は「雑煮、砂糖醤油づけ、きな粉餅」にされ、参加した



親子連れは口いっぱいにはおぼりつきたてのお餅の美味しさに満足しながら一足早く正月気分を味わいました。行事は事

故もなく終わることが出来ました。協力いただいた皆様に感謝申し上げます。今年度も実施する予定です。多くの皆様の参加を願っております。

(部長 田上 雄二)

犯罪・事故抑止に 効果大の 青パト



青パトってご存じですか？
正式名称は「青色回転灯装備車」



要するに屋根に青色の回転するライトを点けながらパトロールする車両（主に乗用車）のことです。

青パトは光る青ライトと車の機動力を活かした見せる警戒を行い、地域の人たちに犯罪抑止による効果を高めてもらおうと生まれたもので北海道では平成16年12月から運用が始まり、

清田区では清田中央地区がトップで17年9月にお目見えしました。その後、全道に広がりをもせ札幌市内では現在で772台が、清田区では35台が登録され、それぞれの地域で活動しています。



清田区の登録台数は左記の通りです。
清田地区防犯パトロール隊 9台

清田中央地区防犯パトロール隊 9台

里美・美しが丘地区 防犯パトロール隊 8台

北野・平岡地区防犯パトロール隊 7台

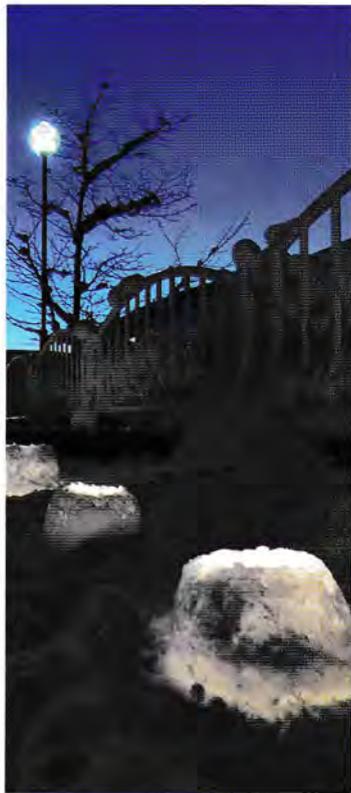
中央通防犯パトロール隊 1台

清田区役所 1台

青パトはあくまでも「自主防犯パトロール」ですが、登下校時の子どもたちの安全を確保するため、毎日出動している地域もあり、更に不審者出没の時の夜間パトロール実施、空き巣やひったくり、子どもを狙った犯罪などの抑止など、今や青パト車を利用した防犯パトロールは、犯罪防止だけでなく交通事故防止対策にもつながり、まちづくりの一環として関係者の期待を集めています。



パトロール隊員は将来を担う子どもたちを犯罪からまもり、皆が平穏に暮らせる安全で安心な地域を築くため今日も巡回に出動しています。

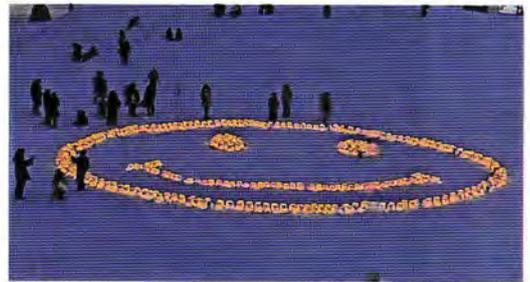


この日午後2時半から1〜2年生500人が校舎を囲む歩道に出て、バケツに雪を入れスノーキャンドル800個ほど作り上げました。

そして、全体が薄暮に包まれた午後4時過ぎ、玄関前で点灯式を行った後、生徒たちが校舎の周囲を囲んだスノー



今年で5回目を迎えた「きよたまちの灯かりin真栄中学校」が厳寒の1月24日(木)に行われました。



キャンドルに次々と点灯しました。暗さが広がるにつれて灯かりが浮かび上がり周囲をやさしく包み込みました。行き交う人たちも「幻想的でキレイ」としばし立ち止まって見つ

めていました。一方、雪のグラウンドでは今年で3回目の「清田小学校まちの灯かり」が行われました。全校児童が朝から交代でスノーキャンドル作りに挑戦し338個を完成させました。

そしてグラウンドに大きなニコニコマークをかたどってキャンドルを並べ点灯しました。

日が沈んだころ、児童、保護者、地域の人たちが訪れキャンドルの灯かりで浮かび上がったニコニコ

マークを見ながら雪中で楽しい時間を過ごしていました。

保護者の一人は「子供たちは良く頑張りましたね、すばらしい光景です」と語り、雪に浮かぶ光に優しい眼差しを向けていました。

新1年生

元気に登校

4月7日(月)の午前10時すぎ、や



わらかな春の日差しを浴びながら真栄小学校への通学路で保護者に付き添われ入学式に向かう新1年生の元気な姿が続きました。

小さな背中いっぱいの新らしいランドセルを背負い心弾ませる新1年生。途中、防犯ボランティアの方から「おはよう、いってらっしゃい」の声に可愛らしく頭を下げてうなずき学校へ向かうほほえましい姿が見られました。

清田地区町内会連合会では防災防犯部が子供たちの安全を守るため、防犯

ボランティアの協力をえて4月末まで登下校の時間帯に重点パトロールを実施しました。道内では交通事故



故に遭った小学生の死傷者の4割が、5〜7月に集中していると云われています。

特に「新入学時よりも、むしろ通学路に慣れたところが危険」とされて



います。地域の人たちの協力も必要ですが、保護者の注意喚起が一番大切で欠かすことが出来ません。

羊ヶ丘通りで

交通安全

街頭啓発



小学校入学式の翌4月8日(火)、春の全国交通安全運動の一環として羊ヶ丘通りの大型ホームセンター駐車場

で清田区交通事故防止総決起集会が開かれました。

会場には町連・町内会の役員、交通

関連など関

係団体から

550人が

参加ました。

会場では

清田区長や

豊平警察署

長らが「清



田区は日ごろの安全運動の成果で毎年、交通事故が減少してきています。地域の力で交通事故をなくしましょう」と呼



びかけたあと、「子供や高齢者の交通事故をなくそう」と決意表明をおこな

いました。

このあと、参加者たちは多くの車両

が走行する羊ヶ丘通りの歩道に立って

街頭啓発を実施。

「スピードダウン、シートベルト着用」などと書かれた黄色い手旗を振りながら車のドライバーに安全運転を訴えました。

観桜と美味に 感激の花見会

青空が広がった5月11日の日曜日、正午の気温が23℃と真夏を思わせる暑さとなった清田区。旧国道にある「あしりべつ桜並木通り」で「桜ウォーキング&散策・花見会」が開かれ多くの区民が美観と食欲を堪能しました。

この催しは昨年5月5日に初めて開催されましたが、低温続きのため花が咲いていない蕾の中でのウォーキングとなりました。

並木通りにはおよそ140本のエゾヤマザクラが植えられており、今年は4月30日に開花、5月3〜6日にかけて満開。

11日は花びらが散った木々が目立つ花見会となりました。



スタートには高齢者や家族連れなど160人が訪れおよそ3・5kmのコースを桜の花を観ながらウォーキング、お年寄

りから「花びらが多く残っている木々もあり心が休まります、参加して良かった」と感嘆の声が聞かれました。この後は楽しみのジンギスカン鍋を囲んで「花見会」です。もくもくと湯気があがる鍋、話に花々を咲かせながら焼肉に舌つづみです。満開の花を観賞してからの味覚は最高、参加者たちは時の過ぎるのを一瞬忘れ楽しい春のひと時を過ごしていました。



新しい球技 フラッグ フットボール



2月23日(日) 清田小学校の体育館で新しいスポーツ「フラッグフットボール」の体験会が開かれ、ボールをもつ子どもたちの

歓声が響きました。

「フラッグフットボール」はアメリカンフットボールを基に考案されたニュースポーツで、「タックル」の代わりにプレーヤーの腰の左右につけた「フラッグ」をとることに置き換えて身体



の接触は原則として禁止したもので、危険なぶつかり合いをなくし子どもから大人まで誰でもがアメリカンフットボールの面白さを体験出来るスポーツです。会場でもたちは道科学技術大学



アメリカンフットボール部の監督、望月春明さんから「フラッグ」の取り合い、楕円形のボールの投げ方、受け方など基本プレーの練習、ルールや作戦について説明を受けたあと、早速ゲームに挑戦。

作戦が成功する度に大きな歓声が起き、子どもたちは新しいスポーツで大いに盛り上がっていました。

このニュースポーツは「プレーごとに作戦を立てるので、子どもの考える力が養われる」と教育現場でも好評で講習会を開く小学校が増えてきているということ。 (部長 住吉 誠一)

生活改善の二環
ゴミステーションを綺麗にし

東真栄町内会

町内会には15か所にゴミステーションが設置され、それぞれ利用する人た

ちが一週間交替で掃除当番を行っています。



ほとんどのステーションは清潔で綺麗な状態に保たれていますが、特定の箇所では周辺にゴミが散乱して見苦しい状態になることがしばしば出現します。

多くは利用する人たちのマナーの悪さが原因ですが、ガラスや他の動物による場合もあげられます。昨年度は利用マナーの悪さに対し「正しいゴミの出し方、早朝キャンペーン啓発活動」を実施。豊平清掃事務所のゴミパト隊と合同で5回、町内会独自で17回実施し、この間、違反ゴミの整理と啓発は135回にも及びました。

また、アパートの居住者にはパンフを配りマナーを訴えました。ゴミステーションの改良にも取り組みました。昨年度は試験的に



2か所のステーションに木製の「ふた」を取り付けました。



この改善策でステーション内に入る雪が減ると同時に、被せられたネットでガラスによる悪さもなくなりました。更に、従来から取り付けていた「ゴミ散

乱防止板」を倍の高さにしました。

これらの対策によって、冬の間も積雪でゴミがステーションから溢れ出して周辺に散乱することもほとんどなくなりました。

今年度は環境衛生部へ重点的に予算を配分し、全てのステーションに同様な対策を講じることにしています。清潔なゴミステーションは町内会のシンボルです。綺麗に使いましょう。(小山 眞)

きよた文苑

短歌・俳句・川柳をお寄せ下さい

短歌

ひとり舞ふがに 清水 芳洞

- ★ 朝会の台に立ちてはまづ見遣る登校拒むきみしき子の位置
- ★ 登校を拒みし女兒が夏休みひとり舞ふがに教室を掃く
- ★ 暴力を振るひて級友に疎まれし痛痛しき者わが前に立つ
- ★ 土器片を拾ひて子らはしのぶらしはるかなる世の家族といふを
- ★ 深く叱られること待ちてをる子らに教師よ阿るなかれ
- ★ 自閉症のマサルが体を揺すぶりはつぼつと歌ふ「人間っていいな」
- ★ 声ひそめ蜜の軌跡追ひながら手つなく子らはうつつを発ちゆく
- ★ 菜の花の黄なるうねりに子どもらは体揺すりて溶けゆきにけり
- ★ 子どもらに物分りよき親たちのゆきつくところ無理解とふ矛盾
- ★ 君が代も食中毒も不登校もいぢめも解きて職退く日来ぬ

「きよた文苑」欄を設けています。左記の要領により奮ってご応募ください。応募は一人一種(短歌・俳句・川柳の内どれか)に限ります。

ハガキに自作作品(既発表可)を一種三句までとし、作品には必ず種別を明記して下さい。

ハガキに住所・町内会名・氏名・電話番号を明記し、左記までにお送り下さい。

送り先
〒004-0841
清田区1条2丁目
5-35
清田まちづくりセンター内
清田地区町連広報部



◁4月 交通安全街頭啓発



▷6月 清田区民まつり



◁7月 こがもちゃんバス遠足



▷8月 清田区防災訓練



▷12月 福まちお楽しみ会

清田地区町内会連合会年間主要事業

年月	事業名・内容
平成26年4月	・清田地区町内会連合会総会(総務部) ・防犯パトロール、子どもを守る強化月間(防災・防犯部) ・春の交通安全街頭啓発(交通安全対策部)
5月	・清田区女性部連絡協議会総会(女性部)
6月	・不法投棄対策事業(1回目)(保健衛生部) ・役員一日研修(総務部) ・青少年育成委員会全体研修会(青少年育成部)
7月	・夏の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・第36回札幌市社会福祉大会(福祉厚生部) ・第15回パークゴルフ大会(体育部) ・連合会だより57号発行(広報部)
8月	・清田区民まつり(総務部・交通安全対策部・青少年育成部) ・清田区防災訓練(防災・防犯部) ・清田区5町連地区対抗壮年野球大会(体育部) ・親子レク(青少年育成部)
9月	・秋の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・厚別神社祭典見まわり(青少年育成部) ・第39回歩く運動(体育部) ・清田区女性部長会議(女性部)
10月	・秋の地域安全運動道民集会(防災・防犯部) ・共同募金活動(福祉厚生部)
11月	・冬の交通安全街頭啓発(5地区合同) ・大縄跳び大会(青少年育成部)
12月	・第3回保健衛生部会(保健衛生部) ・清田町連歳末防犯パトロール(防災・防犯部) ・親子餅つき大会(青少年育成部) ・1円玉募金取りまとめ(女性部)
平成27年1月	・地区新年交礼会(総務部) ・成人式(参加協力)(青少年育成部) ・連合会だより58号発行(広報部)
随 時	・子どもの見守り活動(防災・防犯部) ・防犯夜間パトロール(防災・防犯部)

清田地区社会福祉協議会(福祉のまち推進センター)年間主要事業

年月	事業名・内容
平成26年5月	・「清田地区社会福祉協議会」定期総会
7月	・「こがもちゃんバス遠足」 ・「ほほえみバス旅行」
9月	・第11回 こがもちゃんミニオリンピック大会 ・清田地区社協「ふれあいまつり」
11月	・「友愛訪問」
12月	・第12回 福まちお楽しみ会



◁1月 清田地区新年交礼会

平成26年度 清田地区町内会連合会役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属 町 内 会	備 考
顧 問	長岡武夫	清田町内会	
	林茂吉	清田町内会	
	紙栄	東真栄町内会	
会 長	牧野晃一	真栄第四町内会	
副 会 長	清野廣一	真栄団地町内会	総務部長 兼務
	田崎克典	真栄第三町内会	福まち運営委員長
監 事	松原宏	清田有楽町内会	
	島山昇昇	新平岡町内会	
総 務 部 長	齋藤博美	真栄第一町内会	
財 務 部 長	清野廣一	真栄団地町内会	
福 祉 厚 生 部 長	角口八郎	東真栄町内会	
保 健 衛 生 部 長	漆館勝弘	有明町内会	
防 災 ・ 防 犯 部 長	西海利一	真栄第二町内会	
交 通 安 全 対 策 部 長	横江光良	清田有楽町内会	
青 少 年 育 成 部 長	本間亜輝	新平岡町内会	新平岡町内会副会長
女 性 部 長	田上雄二	真栄第一町内会	
体 育 部 長	茂木良子	真栄第二町内会	
広 報 部 長	住吉誠一	真栄第一町内会	清田体育振興会会長
	小山田義信	真栄団地町内会	真栄団地町内会副会長
理 事	林憲	清田町内会	清田町内会会長 清田地区青少年育成委員会会長
	大谷邦昭	清田有楽町内会	清田有楽町内会会長
	竹本勲	新平岡町内会	新平岡町内会会長代行
	山本顕之進	真栄第一町内会	真栄第一町内会会長
	長屋俊悟	真栄第二町内会	真栄第二町内会会長
	畑中利一	真栄第三町内会	真栄第三町内会会長
	齋藤卓三	真栄第四町内会	真栄第四町内会会長
	小林秀雄	東真栄町内会	東真栄町内会会長
	小遠藤定一	真栄団地町内会	真栄団地町内会会長
	後藤秋雄	美しが丘町内会	美しが丘町内会会長
	川瀬俊昭	有明町内会	有明町内会会長

お気軽に
お越し下さい
清田まちづくりセンター

今年の4月に清田まちづくりセンター1所長に着任いたしました杉本です。3月までは文化部でPMFなどの文化芸術事業や時計台などの文化財の管理に係わる業務に携わっておりました。私は10年ほど前、清田区の里塚美しが丘の「まちセン」に2年間勤務しておりましたので、清田区の「まちセン」に勤務するのは今回が2回目となります。

大好きな清田区の、そしてその発祥の地域である清田まちづくりセンターで、再び仕事をさせていただける事を大変うれしく思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

こちらの清田地区では、平成21年に清田地区町内会連合会や各団体で構成される「清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会」が設立され6年目になりますので、より



充実した活動となるよう様々な支援をしてみたいと思っております。また、来年は清田地区町内会連合会が誕生して50周年を迎える節目の年。さらに地域の方々の絆が深まり、愛着を持って暮らせる「まち」となるよう、皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと思えます。

地域に愛される「まちセン」を目指して、今日も笑顔の3人(支援員は斉藤さん△右側▽、榎さん△中央▽)がいる清田まちセン。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。(所長 杉本 雅章)

編集後記

「分かりやすい連合会だより」を motto にこれからも編集に力を注ぎます。

26年度の広報部員です(五十音順)

- 飯部 紀昭(清田有楽)
- 池田 敏夫(真栄第一)
- 小山田義信(真栄団地)
- 小山 眞(東真栄)
- 佐々木康子(真栄第四)
- 清水 芳洞(真栄第三)
- 田中 強(美しが丘)
- 長屋 俊一(真栄第二)
- 三原 武晴(清 田)
- 編集協力
- 清水 延明(エンブレム)
- 松原 宏悦(清田有楽)
- 杉本 雅章(まちづくりセンター)